

天草絶景STORY

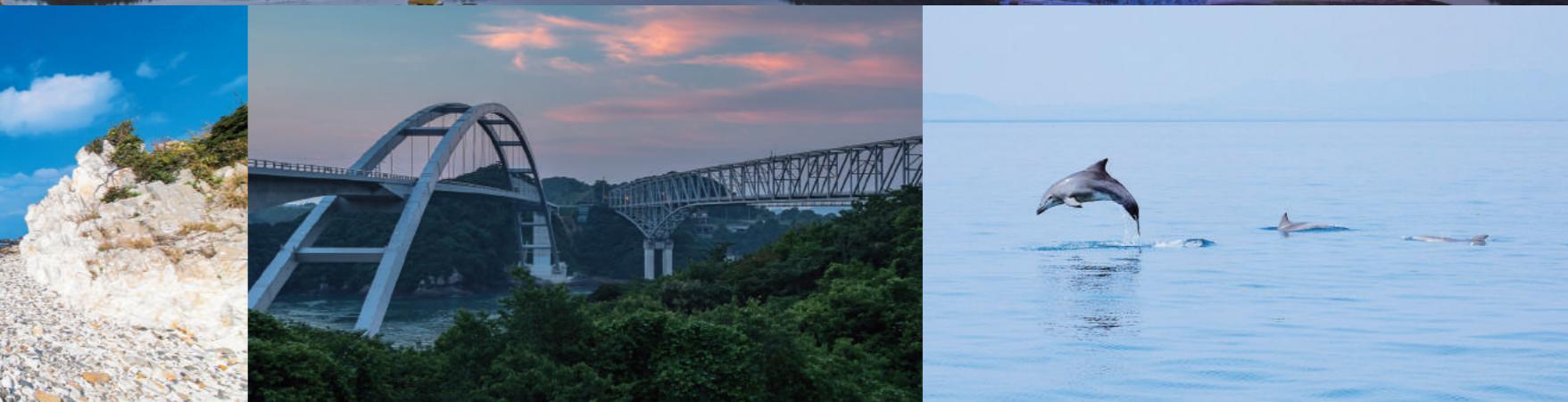
The Best View in the Amakusa

「死ぬまでに
行きたい!世界の絶景」
著者・詩歩さん
オススメスポットコメント付き
写真家・別所隆弘さん
コラム
『ドローンで見る天草』
掲載



天草絶景STORY The Best View in the Amakusa [2021年2月改訂]

VISITあまくさプロジェクト実行委員会(事務局:熊本県天草広域本部総務部総務振興課)
〒863-0013 熊本県天草市今金新町3530 TEL.0969-22-4214
【開店時間】月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分(ただし、祝・休日、年末年始を除く)
※掲載している情報は2020年12月現在のものです
※花の見頃やイベント開催については、各々の問合せ先に直接お尋ねください。



「今」、天草の 絶景を見にいこう



有明海、不知火海、東シナ海と周囲を3つの海に囲まれ、大小約120の島々によって構成されている天草。

豊かな自然はもちろんのこと、キリスト教の信仰と弾圧、そして復活に彩られた歴史、

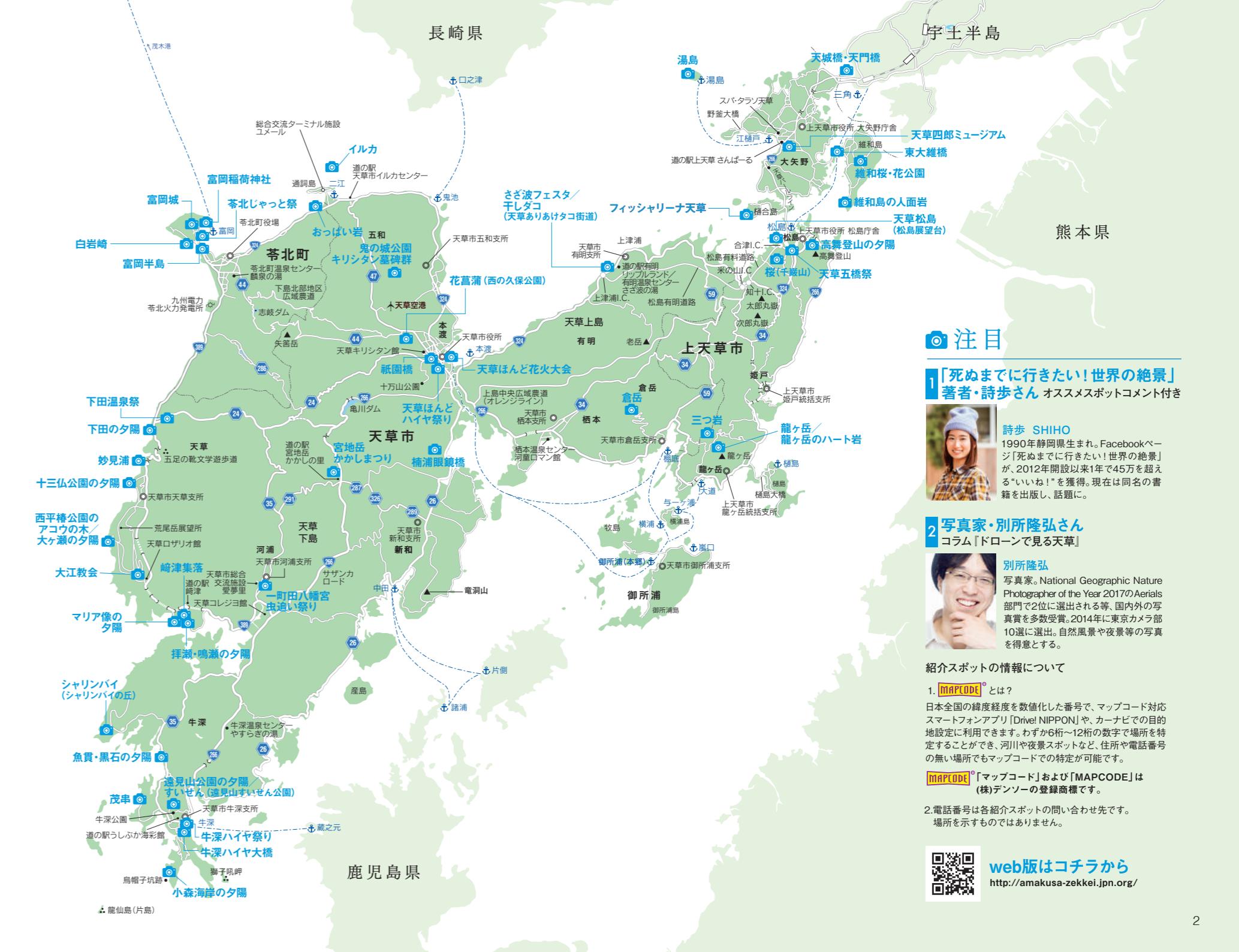
そこに住む人々が紡いできた独特の暮らし・文化。

天草では、まるで物語の世界に出てくるような非日常の絶景に出会うことができます。

あなたの感性で、今しかない天草の瞬間を切り取ってください。

目次

- P03 キリスト教関連
- P08 観望
- P09 夕陽
- P13 海洋景観
- P17 橋
- P20 コラム「青の世界を心に刻む」
- P21 祭り
- P24 コラム「フォトジェニックな湯島へ」
- P25 花火
- P27 季節の風景
- P29 パワースポット
- P31 星空
- P32 建築物
- P33 コラム「ドローンで見る天草」



注目

- 1 「死ぬまでに行きたい! 世界の絶景」
著者・詩歩さん オススメスポットコメント付き



詩歩 SHIHO
1990年静岡県生まれ。Facebookページ「死ぬまでに行きたい! 世界の絶景」が、2012年開設以来1年で45万を超える“いいね!”を獲得。現在は同名の書籍を出版し、話題に。

- 2 写真家・別所隆弘さん
コラム「ドローンで見る天草」



別所 隆弘
写真家。National Geographic Nature Photographer of the Year 2017のAerials部門で2位に選出される等、国内外の写真賞を多数受賞。2014年に東京カメラ部10選に選出。自然風景や夜景等の写真を得意とする。

紹介スポットの情報について

1. **MAPCODE®** とは?
日本全国の緯度経度を数値化した番号で、マップコード対応スマートフォンアプリ「Dine NIPPON」や、カーナビでの目的地設定に利用できます。わずか6桁~12桁の数字で場所を特定することができ、河川や夜景スポットなど、住所や電話番号の無い場所でもマップコードでの特定が可能です。

MAPCODE® 「マップコード」とおよび「MAPCODE®」は(株)デンソーの登録商標です。

2. 電話番号は各紹介スポットの問い合わせ先です。
場所を示すものではありません。



web版はコチラから
<http://amakusa-zekkei.jp.org/>



さきつしゅうらく

冬季の放射冷却で冷え込んだ朝、崎津では氣嵐
(けあら)が立つ。朝焼けが加われば一段と幻
想的な光景を見ることができる。

ISO:200

絞り:F5.6

シャッタースピード:1/2秒

.....

通年、教会イルミネーション(12月中旬～1月上旬頃)、

気嵐(12月～3月上旬頃の早朝)

さきつしゅうらく

崎津集落

撮影ポイント

冬季の放射冷却で冷え込んだ朝、崎津では氣嵐
(けあら)が立つ。朝焼けが加われば一段と幻
想的な光景を見ることができる。

カメラ設定

ISO:200

絞り:F5.6

シャッタースピード:1/2秒

オススメ時期・時間

..... 通年、教会イルミネーション(12月中旬～1月上旬頃)、
気嵐(12月～3月上旬頃の早朝)

空と波音に包まれて悠久の刻を感じる

東シナ海に面した羊角湾にある、小さな漁村・崎津集落。2018年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録された注目のスポット。かつて厳しい弾圧を受けながらも、密かに信仰され続けたキリスト教。そのシンボルが、海を臨むゴシック様式

の崎津教会だ。現在の建物は1934(昭和9)年、フランス人宣教師・ハルプ神父によって再建されたものだという。凧いだ海を見守るように佇む教会は、この地で育まれた長い歴史と文化を感じさせ、見るもの的心に深い余韻を残す。教会内部は祈りの場のため撮影が禁止されている。

TEL.0969-78-6000 (崎津集落ガイダンスセンター)



474 228 426*48

アクセス

・熊本駅から車で約2時間45分

・松橋ICから車で約2時間10分

・天草空港から車で約50分

「絵踏」が行なわれた庄屋跡地
に建設された教会。淡く彩られた空や海霧に包まれる光景
からは、強くも力強い想いが
伝わってきます。





撮影:釣出満彦

「教会の見える崎津みなとのフェスティバル」ではライトアップされた教会と花火とのコラボレーションが撮影できる。崎津漁港広場では地元の方によるバザーやステージイベントも。



撮影:内田保知

尖塔の上に十字架を掲げた重厚なゴシック様式で、その堂内は国内でも数少ない畳敷きになっている。建てられた場所は、ハルプ神父の強い希望で、禁教時代に絵踏が行われた吉田庄屋役宅跡が選ばれた。



撮影:川井圭吾

崎津諏訪神社は、大漁、海上安全を祈願するために1647年に創建されたと言われ、以来、崎津集落の守り神として受け継がれている。崎津諏訪神社の鳥居の間からは、崎津教会の姿を見ることで、禁教時代に絵踏が行われた吉田庄屋役宅跡が選ばれた。



撮影:下村優貴

土地の狭い崎津集落では、家と家の間に「トウヤ」と呼ばれる細い小路が何本もあり、そのまま船着場に繋がるものも。漁師の作業場「カケ」とともに「国の重要文化的景観」に指定されている。居住地のためトウヤ内に入っての撮影はご遠慮を。

大江教会



撮影:小林健浩

キリストの心を伝える白亜の教会

丘の上に建つ白亜の教会。キリスト教の解禁後、天草で最も早く建てられた教会で、現在の建物は1933(昭和8)年、伝道に生涯を捧げたフランス人宣教師・ガルニエ神父が地元の信者と協力して建立した。敷地内には“パーテルさん”と呼ばれ親しまれたガルニエ神父の像やルルドの聖母マリア像もあり、キリスト教の歴史を感じられる。教会内部は祈りの場のため撮影が禁止されている。

TEL.0969-22-2243 (天草宝島観光協会)
■ 天草市天草町大江1782
□ 約10台
MAPCODE 474 314 013*70
アクセス
・熊本駅から車で約2時間50分
・松橋ICから車で約2時間15分
・天草空港から車で約55分



三つ岩



山頂では足元に注意して撮影しよう。
奇岩と島々の大パノラマや大作山の千枚田など様々な撮影を楽しみたい。



.....秋～春、日中

巨石の上から眺めるダイナミックな景色

九州自然遊歩道・観海アルプスルートをトレッキングする人たちに人気の隠れた絶景スポット。大作山から林道を車で走り龍ヶ岳山頂への分岐をそのまま直進して姫戸方面へと向かうと三叉路が見えてくる。そこから徒歩で山道を30分ほど歩くと三つ岩に到着。勇気を出して岩の上に登れば、御所浦から倉岳方面の大パノラマが広がり、眼下には棚田百選にも選ばれている「大作山の千枚田」を望むことができる。

TEL.0964-56-5602 (天草四郎観光協会)
■ 上天草市龍ヶ岳町大道
□ 約3台 (三つ岩まで徒歩約30分)
MAPCODE 254 299 293*85
アクセス
・熊本駅から車で約2時間35分
・松橋ICから車で約2時間
・天草空港から車で約1時間30分



倉岳



山頂にある展望台を奥まで進むと天空

の鳥居があり島々を一望できる。



.....通年、日中～夕方

“天空の鳥居”から広がる海を見渡す

標高682mと天草諸島で最も標高が高い倉岳。山頂からは、穏やかな海と島々を見渡すことができ、天気が良ければ雲仙、霧島まで見えることもあるとか。山頂には航海の安全を祈願して祀られた「倉岳神社」があり、珍しい船の形をした石の彫り物が並ぶ。パラグライダー基地もあり、鮮やかな色のキャノピー（布製の翼）が、真っ青な海と空に映える。

TEL.0969-64-3111 (天草市倉岳支所)
■ 天草市倉岳町
□ 50台 (山頂は約5台)
MAPCODE 254 324 825*30
アクセス
・熊本駅から車で約2時間55分
・松橋ICから車で約2時間20分
・天草空港から車で約1時間40分



鬼の城公園 キリストン墓碑群

信仰の道に殉じたキリストンの眠る地

鬼の城公園の一角にあるキリストン墓碑群は、五和町内に点在する貴重な墓石の散逸を防ぐために集めて整備したもの。春には桜やツツジが開花し、その姿は静かに眠る殉教者を弔っているかのよう。周囲には弘法大師の像や御堂等もあり、静謐な空気が漂う。殉教者への敬意を胸に訪れよう。

TEL.0969-32-1111

(天草市五和支所)

■ 天草市五和町御領
□ 約100台
MAPCODE 254 605 158*04
アクセス
・熊本駅から車で約2時間15分
・松橋ICから車で約1時間40分
・天草空港から車で約10分





日本の夕陽百選

たかぶとやま

高舞登山の夕陽

ゆうひ

撮影ポイント

多島海景観の奥に夕陽が沈む4月頃及び8月～9月頃がオススメ。日没直後に街や車の灯りを入れて撮るのも良い。

カメラ設定

(上) ISO:100
絞り:F8
シャッタースピード:1/160秒

(下) ISO:50
絞り:F8
シャッタースピード:120秒

オススメ時期・時間

……4月頃、8月～9月頃の夕暮れ時



水平線の彼方に沈む夕陽は、自然が織りなす芸術品

国指定文化財・名勝で、標高117mの展望所から雲仙や天草松島の多島海景観を見渡せる。不知火海や島をつなぐ天草1号橋～5号橋の景色も一望。夕暮れ時には、松島、天草五橋を背に神々しい光を放ちながら日が沈み、なんとも幻想的。その景色は「日本

の夕陽百選」にも認定されている。静かに茜色に染まる空と海をじっくり堪能しよう。戦国時代、地元の武将がこの山頂で舞を楽しんだという伝説からこの名が付けられたとか。山頂の公園には桜の木が植えられており、春には花見スポットとしてもぎわう。

TEL.0964-56-5602(天草四郎観光協会)



天草を上から眺めるならココ！天草五橋それぞれの形状の違いを楽しみましょう。夜景観賞なら夕暮れ直後のトワイライトタイムがオススメ！





水平線に沈む真っ赤な夕陽に感動

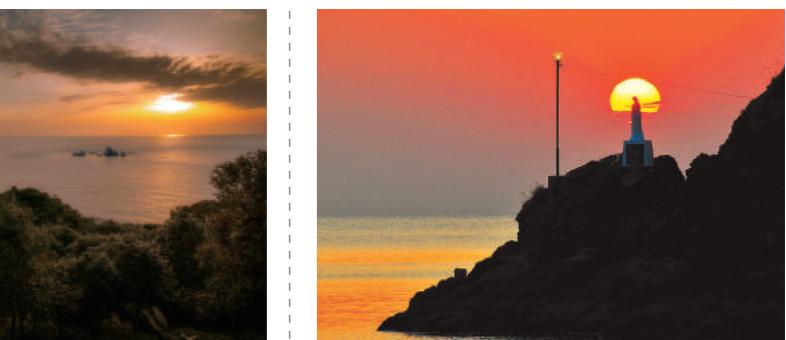
天草西海岸の夕陽は、感動のあまり言葉をなくす
ほどの美しさ。地域の財産である風景を多くの人に
伝えたい—。そんな想いから、天草市では特に美し
い8ヶ所を「天草夕陽八景」として選定。これらを結

ぶルートを「天草西海岸サンセットライン」とし、多
くの観光客に親しまれている。マリア像と夕陽が重
なる様など、キリストian文化の島ならではの風景
に、思わずため息がこぼれる。



天草夕陽八景

あまくさゆうひはっけい



下田の夕陽

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所)

団 天草市天草町下田北 □ 約15台 [MAPLEDE](#) 474 585 290*55

アクセス

熊本駅から車で約2時間30分・松橋ICから車で約1時間55分・
天草空港から車で約40分

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所)

団 天草市天草町高浜北 □ 約30台 [MAPLEDE](#) 474 464 663*60

アクセス

熊本駅から車で約2時間45分・松橋ICから車で約2時間10分・
天草空港から車で約50分

撮影ポイント

メイン写真は「大ヶ瀬の夕陽」。「西平椿公園」から波打ち際近くまで降りてダムタマ阳を撮影。荒尾岳展望所から俯瞰的に撮影する等、多くのバリエーションで撮影できる。

カメラ設定

ISO:100
絞り:F8
シャッタースピード:1/60秒



オススメ時期・時間

・下田の夕陽:通年 日入時
・十三仏公園の夕陽:通年 日入時
・大ヶ瀬の夕陽:秋~冬頃 日入時
・マリア像の夕陽:秋~冬頃 日入時
・拝瀬・鳴瀬の夕陽:秋~冬頃 日入時
・魚貫・黒石の夕陽:秋~冬頃 日入時
・遠見山公園の夕陽:秋~冬頃 日入時
・小森海岸の夕陽:秋~冬頃 日入時
TEL.0969-23-1111 (天草市觀光振興課)

のどかな風景を背景に穏やかな陽を惜しむ

羊角湾の周辺や崎津教会を散策しながら、日没のひとときを

楽しめる。

おがみせ なるせ ゆうひ

おがみせ なるせ ゆうひ

おがみせ なるせ ゆうひ

歩いて楽しむ夕陽。絶景の中で過ごす贅沢

魚貫海岸や黒石海岸を歩きつつ、「日本の夕陽百選」の絶景を

味わえる。

おにき くろいし ゆうひ



13

しろいわざき

白岩崎

撮影ポイント

青空の下で撮影すれば、白い岩が一層映える。
岩の奥に海と青空を入れることで奥行きを感じ
る写真が撮れる。

カメラ設定

ISO:100
絞り:F18
シャッタースピード:1/125秒

オススメ時期・時間

.....通年、日中～夕方

陽光に包まれる白亜の海辺と紺碧の海

富岡海水浴場から歩くこと5分、足元を小さな白い岩が埋め尽くし、海辺に白い巨岩が鎮座する純白の海岸がある。白い石の正体は天草陶石で、天草西海岸は世界有数の産地とされている。海辺の白、ディープブルーの海のコントラストは鮮烈。海の美しさは天草でも指折りとされ、日中は太陽が

隅々まで照らし、光があふれる様子に心が洗われるよう。海岸一帯は熱帶系の魚類や海草類、石珊瑚類なども豊富。天草灘に夕陽が沈む時間帯は、あたり一面がオレンジ色に染まり、息を飲むような景色が広がる。夕暮れ時もぜひ撮影のスタンバイを。

TEL.0969-35-3332 (苓北町役場商工観光課)



MAP

713 063 075*71

アクセス

- ・熊本駅から車で約2時間40分
- ・松橋ICから車で約2時間5分
- ・天草空港から車で約30分

太陽光を照り返す白い岩場は日本じゃないみたい！カラフルなワンピースを着たら海外のような“インスタ映え”写真が撮れそうです。



14



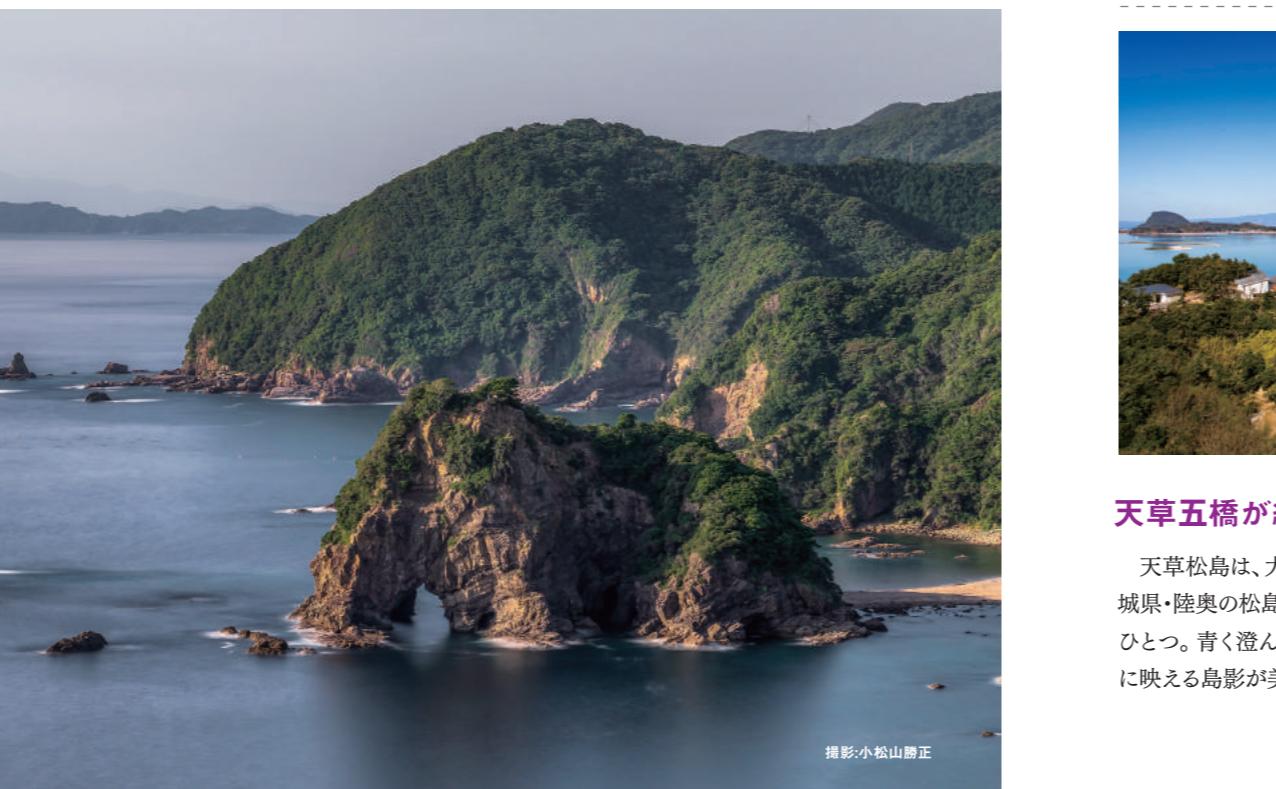
みょうけんうら 妙見浦

ゾウが海を歩く!? 珍景に出会えるかも

天草西海岸を代表する岩礁で、国指定の名勝・天然記念物。スキーバダイビングのスポットとしても人気があり、全国からダイバーが訪れる。また、十三仏公園側から見るとゾウの形をした奇岩「妙見岩」があり、地元漁師の間では「象岩」と呼ばれているのだとか。神秘的な奇岩と断崖絶壁が織りなす眺望は、何度でも訪ねたくなる。

TEL.0969-22-2243 (天草宝島観光協会)
団 天草市天草町高浜北 [P]約30台
MAPCODE 474 464 663*60
アクセス
・熊本駅から車で約2時間45分
・松橋ICから車で約2時間10分
・天草空港から車で約50分
※DATAは撮影場所の十三仏公園

■ 摄影ポイント
「十三仏公園」からは眼下に妙見浦が見える。春には桜が満開となり、海とのコントラストが美しい。
● オススメ時期・時間
.....通年、桜(3月下旬～4月上旬頃)



イルカ

■ 摄影ポイント
春～夏は出産シーズン。親子並んで泳ぐ姿が見られるかも。イルカがジャンプするのは夕方の確率が高いそう。

● オススメ時期・時間
.....通年、日中～夕方

イルカの群れと紺碧の海に癒されるひととき

約200頭のミナミハンドウイルカが生息していると言われる通島の沖合は、愛嬌たっぷりのイルカに出会える世界屈指のスポット。温暖な気候のためエサとなる小アジやイカが豊富で、一年中、群れをなして回遊している。人懐こい性格で船の間近で見ることができ、高確率で遭遇できる。



もぐし

茂串

■ 摄影ポイント
夏場は海水浴客で賑わうので、風景を撮影するなら夏場を避けたほうがよい。海辺は風が強いので写真がブレていないか確認しよう。

● オススメ時期・時間
.....通年、日中～夕方

抜群の透明度を誇る、人気のリゾートビーチ

九州屈指の透明度を誇る人気のビーチでは、素潜りで簡単にたくさんの熱帶魚に出会えるほか、初夏にはウミガメの産卵が見られることも。また、NHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」の巖流島決闘のロケ地になったことでも有名。

TEL.0969-73-2111
(天草市牛深支所産業振興課)
MAPCODE 299 720 392*11
団 天草市牛深町
[P] 50台(海水浴シーズンは有料駐車場500台)
アクセス
・熊本駅から車で約3時間
・松橋ICから車で約2時間25分
・天草空港から車で約1時間10分



天城橋・天門橋

天城橋・天門橋が九州から天草までひとまたぎ

1966年、九州と天草諸島を結ぶ“夢の架け橋”として誕生した天門橋(天草五橋一号橋・写真右)。それから約50年の時を経て、2018年に開通したのが天城橋(写真左)だ。全長463m、ソリッド

リブ形式のアーチ橋では国内最大の橋梁で、周辺環境や天門橋とも調和するようデザインされている。また、夜は毎日ライトアップされ、昼とは異なる雰囲気を楽しめる。

TEL.0964-26-5512 (上天草市観光おもてなし課)
三島西港
天城橋・天門橋
上天草市大矢野町登立
約10台
TEL.0964 677 100 060*05
アクセス/・熊本駅から車で約1時間5分
・松橋ICから車で約30分
・天草空港から車で約1時間10分



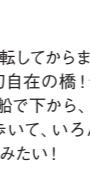
牛深ハイヤ大橋

まるで天の川のよう。ドライブや散策に最適

関西国際空港のターミナルビルを手掛けたイタリアの建築家レンゾ・ピアノ氏の設計によって1997年8月に完成。全長883mと県内最長を誇る巨大な建築物でありながら、繊細かつ優美なデザインが特徴だ。青い海

など自然景観とも調和する昼の眺めも素晴らしいが、ライトアップされた橋が夕闇に浮かび上がる夜の景色も美しい。毎年8月16日に開催される納涼夏祭りでは花火とのコラボレーションも楽しめる。

ぐるっと一回転してからまっすぐ伸びる変幻自在の橋! デッキで横から、船で下から、さらには歩道を歩いて、いろんな角度から楽しみたい!



TEL.0969-73-2111 (天草市牛深支所産業振興課)
牛深警察署
ゆめマート牛深店
牛深市民病院
うきは駅
うきは港
牛深ハイヤ大橋
上天草市牛深町
Pなし
TEL.0969 299 663 436*47
アクセス
・熊本駅から車で約2時間55分
・松橋ICから車で約2時間20分
・天草空港から車で約1時間5分



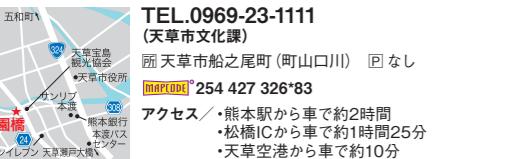
園橋

撮影ポイント
の先にある祇園神社も入れて撮影するとよい。
潮時であれば、水面に映る橋脚も撮影できる。

オススメ時期・時間 通年、日中～夕方

歴戦の記憶を遺す国内最大級の石造桁橋

1832年、切支丹殉教戦二百年祭を機に着工し、完成。5列9行の柱45脚で支えており、江戸時代以前の石造桁橋としては国内最大、さらに全国的にも希少な“多脚式”で国の重要文化財に指定されている。石材には下浦石と呼ばれる天草産の切石を用いている。



すると、奥行きや
・通年、日中～夕方

歴史を肌で感じる田園に詠う

1878年に完成した田園風景の中に佇む石橋。堅牢にして優美なアーチ型と、緑に覆われた美しい橋面が特徴で、県の重要文化財に指定されている。例年10月下旬に開催される「楠浦諏訪神社秋季例大祭」で、神幸行列が橋を渡る様子は壮観だ。



1000 JOURNAL OF CLIMATE

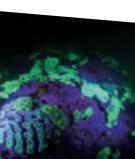
An underwater photograph showing a vibrant coral reef. The reef consists of various types of coral, including large, flat plate corals and smaller, more rounded polyps. Schools of small, colorful fish, likely damselfish or wrasses, are scattered across the reef and the sandy ocean floor. The water is clear, allowing for a good view of the marine life and the geological features of the reef.

守む石橋。堅牢にして優美な
特徴で、県の重要文化財に
される「楠浦諏訪神社秋季
は壮観だ。



- 1.天女の羽衣と呼ばれるキンアンコウの卵巣。本来透明だが太陽に広がるテーブルサンゴの群生。世界に1,000種生息するといふ。
- 3.アオサに包まれるクジメの幼魚。つぶらな瞳でこちらを見ていたナガトたち。子どもたちが安全に育つように、海藻のゆりかごされた地層が波の浸食を受けてできた天草の海岸線。6ブラック

A close-up photograph of a glowing blue light source, possibly a small electronic device or a battery, emitting a bright glow against a dark background.



10



様々な生命が彩る 青の世界を心に刻む

 地球の表面積の約7割と言われる「海」。そこは、普段は目につくことが出来ない未知の世界。その世界に魅了され、海に囲まれた天草に移住し、ダイビングショップを運営する『熊本ダイビングサービスよかよか』代表の中野さんに、その魅力を語ってもらった。

無限の可能性を秘めた、天草

A photograph showing a vibrant coral reef scene. Various fish are swimming around the coral, which is a mix of white and brown colors. The water is clear, allowing for a good view of the marine life.

海の中に広がる四

海の中にも四季がある。春はアカモクなどの海藻が増え、夏は強い日差しが明るく海中を照らし、夏から秋にかけては、クマノミの幼魚などのカラフルな魚が増え、元気に泳ぐ。冬はダイビングは寒さや荒天のためオフシーズンのイメージだが、天草の海は冬場の北西風の影響を受けない島影のダイビングスポットがいくつもあるため波が立たずに潜りやすく、人気スポット。ぜひ一度いかれてみてください。

やヒイラギの大群などを目当てに来る
ファンがいるほど。いつまでも眺め
ていたい美しい海の世界を体験し
に、是非天草を訪れてほしい。



牛深ハイヤ祭り



撮影:小林健浩

撮影ポイント

総踊りは昼と夜で異なる雰囲気に。また、大漁旗をなびかせた漁船が港内を疾走する船団パレードも見逃せない。

カメラ設定

ISO:400
絞り:F10
シャッタースピード:1/320秒

オススメ時期・時間

4月第3週の金・土・日曜の
「牛深ハイヤ祭り」開催時

約3,000人の参加者が熱狂する、牛深の春の風物詩

江戸時代後期に誕生し、「南風(ハエ)の風で出た船は、どこの港まで行き着いたのだろうか」と唄うハイヤ節。女性が船乗りを想うこの唄は港から港へと伝わり、日本各地で息づいている。そんな牛深ハイヤ節を歌い、踊るのが、毎年4月に行われている「牛深ハイヤ祭り」。特に多くの踊り手が練り歩く

「ハイヤ総踊り」は圧巻! 前夜祭を含め3日間開催され、土曜日は幻想的な夜の部、日曜日は明るく華やかな昼の部と異なる魅力を楽しめる。観光客でも飛び入り参加ができるので、「ハイヤ～エ～ハイヤ～」の歌声に合わせて、美しい風景の中に飛び込んでみるのも一興だ。

TEL.0969-73-2111 牛深ハイヤ祭り実行委員会(天草市牛深支所産業振興課内)



団地

約1,000台

TEL

299 663 848*23

アクセス

- ・熊本駅から車で約2時間55分
- ・松橋ICから車で約2時間20分
- ・天草空港から車で約1時間5分



パワーをもらえそう！「天草のラピュタ」として話題の木

見頃の時期には約2万本の椿が咲き誇る公園。しかし、近年、椿以上に注目を集めているのが、「アコウの木」だ。高さ約20メートルにもなる巨大なアコウの木だ。地元で「蔵岩」と呼ばれている巨岩を、抱き込む力強さを肌で感じてみて。

ように根を張る様子がアニメ映画「天空の城ラピュタ」の世界観を彷彿とさせると、天草のラピュタとして話題に。圧巻のスケールと、自然の力強さを肌で感じてみて。

西平椿公園の アコウの木

撮影ポイント
西平椿公園の駐車場から階段を降りた途中にある。人を入れて撮影すると木の巨大さがよりわかる。

カメラ設定
ISO:320 紋り:F5
シャッタースピード:1/160秒

オススメ時期・時間
通年、日中

撮影ポイント
満潮時は水没して見えないため、干満を確認。苓北町HPで潮見表をチェックしよう。

オススメ時期・時間 …… 通年、干潮時

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所まちづくり推進課) 西平椿公園のアコウの木

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所まちづくり推進課)
西平椿公園のアコウの木



TEL.0969-35-3332 (苓北町商工観光課) おっぱい岩

TEL.0969-35-3332 (苓北町商工観光課)
おっぱい岩

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所まちづくり推進課) アコウの木

TEL.0969-42-1111 (天草市天草支所まちづくり推進課)
アコウの木

龍ヶ岳のハート岩

撮影ポイント
龍ヶ岳山頂から見る“ハート”で恋をかなえよう

龍ヶ岳山頂展望所にあるハート岩は、縁結びのパワースポットとして注目を集めている。背景に澄んだ海と空のパノラマが広がり、心身ともにリフレッシュできる。

いわじま 維和島の人面岩

撮影ポイント
維和島の最南端。後方は山で夕方は影になるため、早い時間帯に撮影しよう。

オススメ時期・時間 …… 通年、日中

撮影ポイント
ハート岩と海でロマンチック一枚。断崖絶壁にあるため、撮影時は足元にご注意を。

オススメ時期・時間
通年、日中

TEL.0969-63-0466
(龍ヶ岳山頂自然公園内ミューア天文台)
所在地: 姪戸町 松島町
面積: 約20ha
MAPCODE: 372 210 769*26
アクセス:
・熊本駅から車で約2時間25分
・松橋ICから車で約1時間50分
・天草空港から車で約1時間20分

撮影ポイント
維和島の最南端。後方は山で夕方は影になるため、早い時間帯に撮影しよう。

オススメ時期・時間 …… 通年、日中

TEL.0964-56-5602 (天草四郎観光協会)
所在地: 上天草市大矢野町維和・下山町
面積: なし
MAPCODE: 372 731 361*31
アクセス:
・熊本駅から車で約1時間35分
・松橋ICから車で約1時間
・天草空港から車で約1時間10分



吸い込まれそうに澄んだ夜空ときらめく満天の星

今宵、星空のショーへ！満天の星に包まれて、ロマンチックな夜を過ごしてみたいなら龍ヶ岳へ行こう。標高470m、その見た目から「天草富士」とも呼ばれているそ。龍ヶ岳町は環境省から“星空日本一”に選ばれたこと

もあり、澄んだ空気が自慢。山頂のすぐ脇には「ミュイ天文台」があり、口径50cmの望遠鏡で惑星や星雲、星団も観測できる。早朝は朝日が、日中は雲仙や不知火海を見下ろせて、その眺望もまた素晴らしい。



TEL.0969-63-0466
(龍ヶ岳山頂自然公園内ミュイ天文台)

■上天草市龍ヶ岳町大道
■約20台
■0972 372 210 800*85
■アクセス
・熊本駅から車で約2時間25分
・松橋ICから車で約1時間50分
・天草空港から車で約1時間20分

TEL.0964-56-5311
(天草四郎ミュージアム)
■上天草市大矢野町中977-1
■約60台(夜間の駐車は不可)
■0972 372 845 654*67
■アクセス
・熊本駅から車で約1時間15分
・松橋ICから車で約40分
・天草空港から車で約1時間

TEL.0969-35-3332
(苓北町役場商工観光課)
■天草郡苓北町富岡
■約50台(富岡城駐車場利用)
■0972 713 064 847*60
■アクセス
・熊本駅から車で約2時間40分
・松橋ICから車で約2時間5分
・天草空港から車で約30分

富岡稻荷神社

とみおかいなりじんじゃ
撮影ポイント
手前の鳥居をフレームに見立て、望遠レンズで鳥居を寄せて撮影。様々な角度で撮影できるので、色々な構図を試してみよう。

オススメ時期・時間

……通年、日中



富岡城

とみおかじょう
撮影ポイント
富岡港から撮影。波が穏やかな日は、海面に映り込む富岡城も撮影可能だ。

オススメ時期・時間

……通年、日中～夕方

TEL.0969-35-3332
(苓北町役場商工観光課)
■天草郡苓北町富岡
■約50台
■0972 713 064 551*00
■アクセス
・熊本駅から車で約2時間40分
・松橋ICから車で約2時間5分
・天草空港から車で約30分

※DATAは撮影場所の富岡港

往事の威風を残す、天然の要塞

島原・天草一揆で一揆勢と幕府軍が攻防を繰り広げた地。櫓や白壁等も復元され、当時の面影が蘇りつつある。高台からの景色も爽快。



フィッシャリーナ あまくさ 天草

撮影ポイント
南仏の雰囲気を醸し出す外観と海のコントラストが美しい日中～夕方がオススメ。

オススメ時期・時間

……通年、日中～夕方

TEL.0969-56-3043
(フィッシャリーナ天草)
■上天草市松島町合津7500
■約160台
■0972 372 723 211 *03
■アクセス
・熊本駅から車で約1時間25分
・松橋ICから車で約50分
・天草空港から車で約1時間

天草四郎 ミュージアム

撮影ポイント
ライトアップは日没～22時だが、薄暮の時間帯が最も美しい。園内をボピーが彩る春の撮影もよい。

オススメ時期・時間

……通年、夕方

薄暮に映えるライトアップされた外観
島原・天草一揆等を紹介するテーマ館で、外観はペールを被る聖母マリアがイメージされている。日没後はライトアップされ荘厳な雰囲気に(館内見学は17時まで)。

TEL.0964-56-5311
(天草四郎ミュージアム)
■上天草市大矢野町中977-1
■約60台(夜間の駐車は不可)
■0972 372 845 654*67
■アクセス
・熊本駅から車で約1時間15分
・松橋ICから車で約40分
・天草空港から車で約1時間

TEL.0969-63-0466
(龍ヶ岳山頂自然公園内ミュイ天文台)
■上天草市龍ヶ岳町大道
■約20台
■0972 372 210 800*85
■アクセス
・熊本駅から車で約2時間25分
・松橋ICから車で約1時間50分
・天草空港から車で約1時間20分

異国情緒溢れるヨットハーバー

クルーザーやヨットが停泊する海の玄関口。南仏の海辺のような景色が広がり、クラブハウスのテラスから眺める夕陽の美しさにも定評がある。



TEL.0969-56-3043
(フィッシャリーナ天草)
■上天草市松島町合津7500
■約160台
■0972 372 723 211 *03
■アクセス
・熊本駅から車で約1時間25分
・松橋ICから車で約50分
・天草空港から車で約1時間



コラム

ドローンで見る天草

写真家 別所隆弘

「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」という、90年代の終わりに岩井俊二監督がメガホンを取った傑作映画がある。

いわゆる「パラレルもの」で、打ち上げ花火を下で見るか、横で見るかでストーリーが分岐する映画で、繊細な画作りが素晴らしい映画だった。

時に視点を変えるだけで、見知った風景が激変することがある。特に天草は、ドローンで「上から見るか？」と何度も私に葛藤を強いよう、素晴らしい上空からの風景を見てくれた。

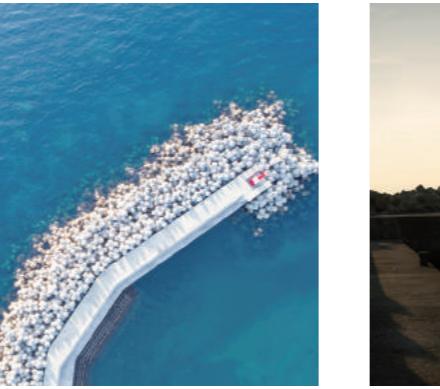
天草にかかる4つの橋を一望に収めるこのショットは、人間が大地に足を付けた状態では見ることが出来ない。はるか遠くには雲仙普賢岳も見ることのできるこのポイントからダイナミックな風景を目にした時、天草の観光都市としての魅力を思い出した。というのも、ドローンで撮影しつつ今まさに目の前に展開されている「横から見た」夕焼けとともにあなたを魅了するだろう。

(※1) 夕焼けでつとに有名な天草の地だが、勿論それだけではない。大地を離れて、上から見てみると、なんとも独特の形があちこちに溢れている。

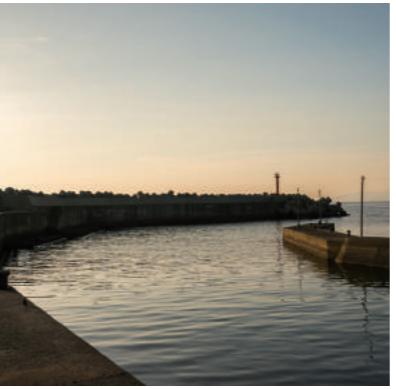
だ。まさに「上から見るか、横から見るか」、ここに来た人間はその煩悶を、歓喜とともに存分に味わうことができる。でもご心配には及ばない。結局のところ、どちらから見ても、天草の美しい海岸線は、夕焼けとともにあなたを魅了するだろう。

(※2) ウキウキしながらドローン撮影を終えると、水平線の向こうに太陽が落ちる時間帯がやって

上から見ると そこには地上の楽園が 広がっている



※1 下田



※2 下田



※3 天草三号橋



※4 白岩崎

※4 白岩崎

きた。先程抜けるような青空の下で綺麗なコントラストを見せていた灯台は、今度は逆光の夕暮れの見せる、影の濃さが美しい。上から見ても美しいカーブだった防波堤を広角レンズで大胆に切り取ると、灯台の孤独な美しさが引き立つ。

(※3) 美しく大きな橋を下から撮影した時、これは難しいと思った場所だ。ここはこの記事のメイン写真(天草松島の多島海景觀)の中に写っている、

天草五橋の一つ。でも、あまりにも長い被写体のために、容易にはその全貌を撮らせてくれない。まいったなと思った時、ふと、上から撮ってみようと思いついた。徐々に上がるドローンから見える巨大な「影」に興奮した。人間の身長では見ることの出来ない、橋の持つ隠された形の全てが、美しいコバルトブルーの海にくっきりと写り込んでいる。

(※4) 海からの恵みは、単に美しさと豊富な魚

介類だけを生み出すわけではない。独特的海洋成分が、土とまじりあって、あの白く美しい「天草陶石」が出来上がる。日本の磁器は、この石で支えられている。地上から見ると、大きな岩に遮られて見えなかった全景が、上から見ると均されて、海岸線いっぱいに白いストライプを作っていることがわかる。まるでそれは、海の青と大地の緑を切り分ける境界線のようだ。